

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社 会社案内

変革を推進する



マンディ マルクワット
マンディ マルクワットは1型糖尿病とともに生きる、チーム ノボ ノルディスクの選手です。



ノボ ノルディスクは、1923年創立のデンマークに本社を置く世界有数のヘルスケア企業です。

私たちのパーパスは、変革を推進し、糖尿病および肥満症、血液系希少疾患、内分泌系希少疾患などのその他の深刻な慢性疾患を克服することです。

その目的達成に向け、科学的革新を見出し、医薬品へのアクセスを拡大するとともに、病気の予防ならびに最終的には根治を目指して取り組んでいます。

ノボ ノルディスクは現在、80カ国に4万5,000人以上の社員を擁し、製品は169カ国で販売されています。

目次

| | |
|------------------------|----|
| 社長メッセージ | 03 |
| ノボ ノルディスクの歴史 | 04 |
| ノボ ノルディスク ファーマ株式会社について | 05 |
| ノボ ノルディスクの価値観 | 06 |
| サステナブルビジネスアプローチの経営原則 | 07 |
| 究極のイノベーションの追求 | 08 |
| 社会への取り組み | 10 |
| 環境への取り組み | 13 |
| 働く環境への取り組み | 14 |
| 社員紹介 | 15 |

一目で見るノボ ノルディスク

糖尿病、肥満症、血友病および成長障害の分野で働く



本 社: デンマーク
関連会社: 80カ国に関連会社があります¹。



製 品: 169カ国でノボ ノルディスクの製品を販売しています¹。



患 者: 世界で3,280万人の患者さんが、ノボ ノルディスクの糖尿病ケア製品を使用しています¹。
世界で使用されるインスリン製剤の約半分はノボ ノルディスクの製品です¹。



R & D: 中国、デンマーク、インド、米国、英国に10カ所の研究開発センターがあります¹。



従 業 員: 世界で4万5,000人以上を雇用しています¹。
日本では約1,000人が働いています。



生産拠点: 世界9カ国(アルジェリア、ブラジル、中国、デンマーク、フランス、日本、ロシア、英国、米国)16カ所に生産拠点があり¹、国内唯一の生産拠点は、郡山工場(福島県郡山市)です。

¹ novonordisk.com, Accessed November 2021

糖尿病やその他の慢性疾患の患者さんの より健康で、より良い生活のために

ノボ ノルディスクのパーパスは、「変革を推進し、糖尿病やその他の深刻な慢性疾患を克服する」ことであり、社会に価値を提供する持続可能な企業を目指しています。

ノボ ノルディスクは、1923年にデンマークに設立されたグローバルヘルスケア企業です。

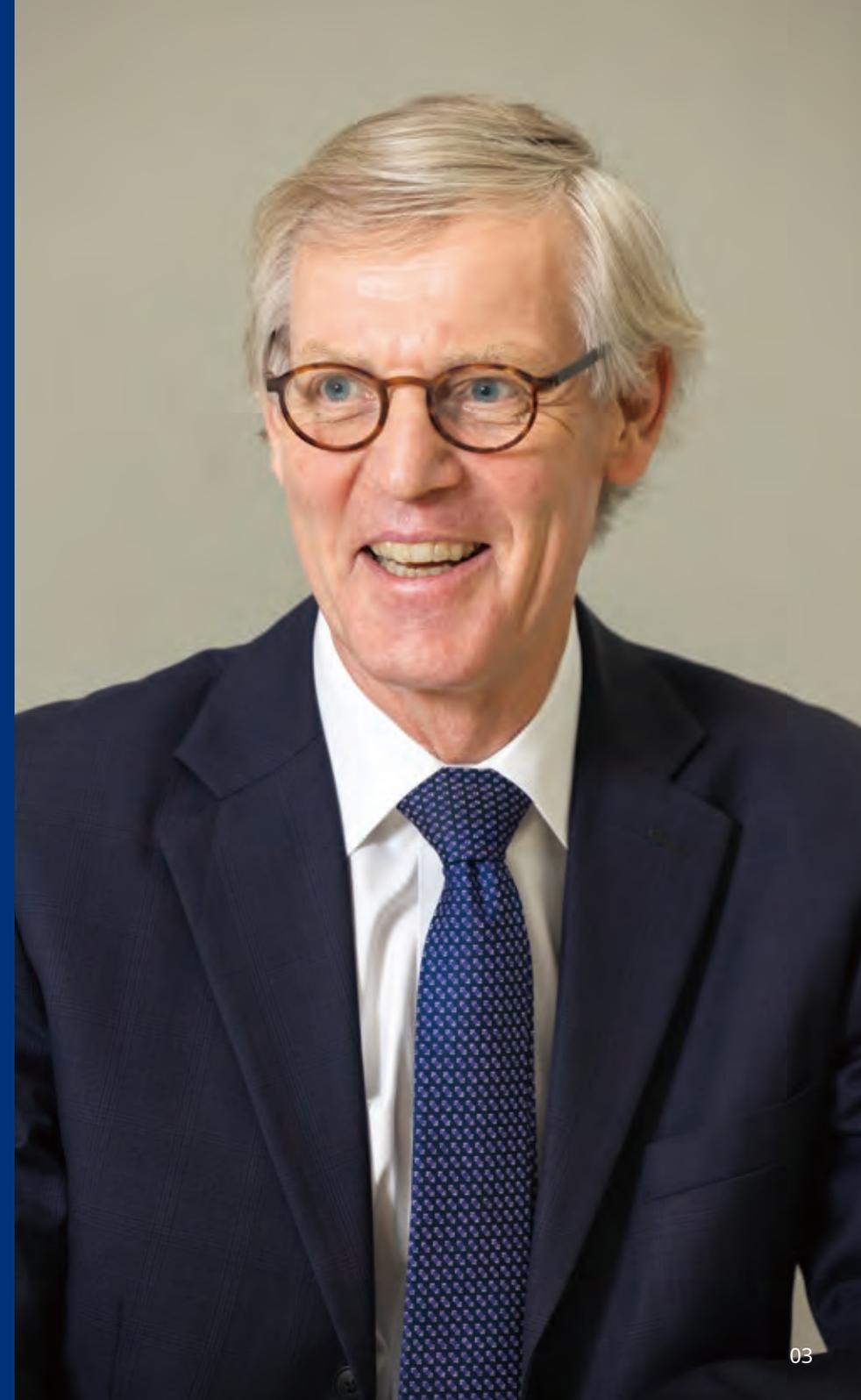
私たちは、設立から約100年にわたり、糖尿病、成長障害、血友病、肥満症とともに生きる方々によりよい治療の選択肢を提供するため、研究開発における科学的革新を推進しています。医薬品へのアクセスをグローバルに拡大し、患者さんの命を救う製剤をお届けすることに加えて、病気の予防や患者さんの心理的ケアも提供しながら、最終的に根治を目指しています。

私たちは、慢性疾患と関連のある社会課題の解決に貢献することは非常に重要であると考えています。また、「Circular for Zero -循環型ビジネスで環境負荷ゼロを実現する-」戦略に基づき、気候変動問題を食い止めることに貢献する真の意味で環境に配慮した持続可能な企業であることを目指しています。ノボ ノルディスクのサステナブルビジネスアプローチは、「社会に対する責任」、「環境に対する責任」、「財務・経済に対する責任」の3つの柱によって成り立っており、常にこの3つの責任を考慮し、ビジネスを行う上での意思決定が行われています。これは、私たちの会社の定款で定められた経営原則であり、世界中の従業員が共有する価値観である「ノボ ノルディスク ウェイ」の中に明文化されています。日本における事業活動は、私たちのパーパスに基づいており、患者さんや社会にとっての利益が念頭に置かれています。

ノボ ノルディスクの日本法人であるノボ ノルディスク ファーマ株式会社は1980年に設立され、東京本社をはじめ、全国54カ所に営業拠点と、福島県に国内製造拠点である郡山工場があります。1,000名以上の社員が、日々製品をお届けする患者さんに対して大きな責任を持ち活動しています。私たちは、「変革を推進し、糖尿病やその他の深刻な慢性疾患を克服する」というパーパスの達成に向け、力強く歩み続けています。

2021年12月

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社 代表取締役社長
オーレ ムルスコウ ベック



ノボ ノルディスクは糖尿病ケアの変革を推進しながら約100年の歴史を歩んでいます

ノボ ノルディスクのイノベーションの歴史



- 1921 **インスリンの発見**
2名のカナダ人研究者が膵臓ホルモン的一种であるインスリンを発見
- 1922 **北欧におけるインスリンの製造許可を取得**
ノボ ノルディスクの創立者であるアウグスト クロウとデンマーク人医学博士のハンス クリスチャン ハーゲドンが、インスリンを北欧で製造・販売する許可を取得
- 1923 **北欧初のインスリン製剤を発売**
死を待つしかなかった1型糖尿病の治療方法を変革
ノルディスク インスリン研究所の創設
- 1925 **初のインスリン注入器を発売**
患者さんが安心して自分で正しい量のインスリンを注射できるように設計
- 1946 **世界初の結晶性プロタミンインスリンを開発**
動物インスリンの作用時間の延長による、注射回数の削減を実現

1950

- 1955 **ノボ社のインスリン製剤が国内で流通開始**
- 1975 **高度精製(モノコンポーネント、MC)インスリンの発売**
製品の純度を高め、注射部位に頻発したアレルギー反応の軽減に貢献
- 1976 **ノルディスク社のインスリン製剤が国内で流通開始**
- 1977 **下垂体抽出ヒト成長ホルモン製剤の発売**
- 1980 **ノボ薬品株式会社設立**
- 1984 **日本ノルディスク株式会社設立、ノボ薬品厚木工場稼働**
国内におけるインスリン製剤の安定供給を確保
- 1985 **半合成ヒトインスリン製剤を発売**
動物インスリンのアミノ酸配列を置換し、ヒト型のインスリン製剤を開発
- 1988 **インスリンペン型注入器を発売**
インスリンカートリッジを装着しワンプッシュ2単位の自己注射が目立たず
簡便に実施できるように
- 1990 **ノボ ノルディスク ファーマ株式会社発足(ノボ薬品と日本ノルディスクが統合)**
- 1992 **ヒトインスリン(遺伝子組換え)製剤を発売**
- 1994 **インスリンプレフィルド製剤を発売**
インスリンカートリッジと使い捨ての注入器があらかじめセットになった製剤で、
インスリンの自己注射はさらに簡便に

2000

- 1998 **郡山工場本格稼働**
ノボ ノルディスクの生産供給部門を代表する21世紀のモデル工場として稼働開始
- 2000 **遺伝子組換え活性型血液凝固第VII因子製剤を発売**
リキッドタイプのヒト成長ホルモン製剤と専用のペン型注入器の発売
- 2001 **超速効型インスリンアナログ製剤を発売**
食後のインスリン追加分泌をより忠実に再現し、食前注射が可能に
視力が弱く手指の力の弱った糖尿病患者さんのニーズに応えた
インスリンプレフィルド製剤を発売
- 2004 **ヒト成長ホルモンのペン型プレフィルド製剤を発売**
- 2007 **持効型溶解インスリンアナログ製剤を発売**
- 2010 **ヒトGLP-1アナログ製剤を発売**
- 2014 **遺伝子組換え血液凝固第VIII因子製剤を発売**
- 2015 **1本のペンに持効型溶解インスリンと超速効型インスリンを配合した
溶解インスリンアナログ製剤を発売**
遺伝子組換え血液凝固第XIII因子製剤を発売
- 2018 **ペグ化遺伝子組換え型血液凝固第IX因子製剤を発売**
- 2019 **基礎インスリンとGLP-1受容体作動薬の配合剤を発売**
- 2021 **経口GLP-1受容体作動薬を発売**

2021

日本法人であるノボ ノルディスク ファーマ株式会社は1980年に設立されました

患者さん、医療機関の方々に、いつでも安心して使っていただける製品をお届けすることが、私たちの使命であると考えています。

ノボ ノルディスクのインスリン製剤は1950年代より国内に流通しており、糖尿病患者さんの治療改善に長らく貢献してきました。現在では約1,000人の社員が働いています。日本法人は、前身であるノボ薬品株式会社が1980年に設立されたことからスタートし、1990年にノボ薬品と日本ノルディスク株式会社が統合し、ノボ ノルディスク ファーマ株式会社が発足しました。

会社概要

社 名：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

設 立：1980年6月20日

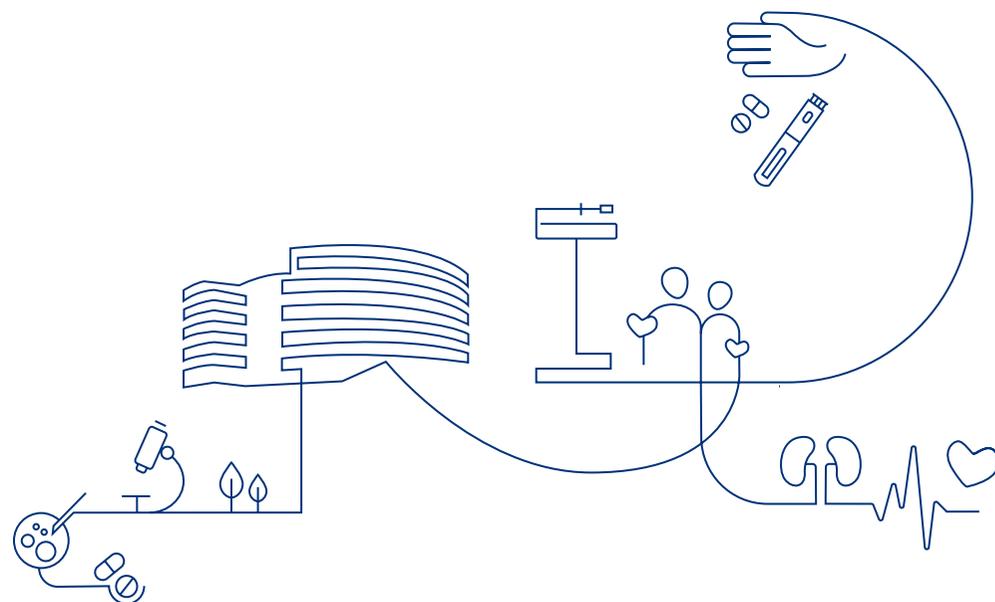
資 本 金：21億405万円

代 表 者：代表取締役社長 オーレ ムルスコウ ベック

株 主：ノボ ノルディスク・リージョン・ジャパン&コリアA/S

事業内容：医療用医薬品、医療機器の開発、輸入・製造、販売

事業領域：糖尿病領域、および血友病や成長障害の治療薬を含むバイオフーマ領域



郡山工場 (福島県郡山市)

ノボ ノルディスク ファーマは、1984年に神奈川県厚木市の工場生産を開始し、その後、市場の拡大に伴い、1998年1月に福島県郡山市に工場を移転しました。郡山工場は、国内唯一の生産工場として、国内で流通する全ての当社製品について、高い品質を確保しつつ安定供給できるよう、最新鋭の技術と設備を駆使し、製品の受け入れから出荷までコンピューターで一元管理した生産を行っています。



サステナブルビジネスアプローチの経営原則に沿い バランスのとれた意思決定をしています

ノボ ノルディスクは、社会、環境、財務・経済に対して責任を果たしていくことが、長期的にビジネスを成功させる基盤であると考えています。

ノボ ノルディスクでは患者さんを中心に、社会、環境、財務・経済の3つの側面で責任を果たし、短期的な売り上げと長期的な利益のバランスをとった意思決定を行うことを経営の原則として定款に明記しています。

サステナブルビジネスアプローチでは、私たちのパーパスである「変革を推進し、糖尿病やその他の深刻な慢性疾患を克服する」をトライアングルの中心に据え、私たちが日々製品をお届けする何百万人もの患者さんに対して担う責任を示しています。このパーパスにより導かれた事業活動を行い、社会に付加価値を提供し、持続可能な企業であることを目指しています。



エッセンシャルズ

1. 私たちは、患者さん中心のビジネスアプローチをとることによって価値を創造します。
2. 私たちは、意欲的な目標を設定し、エクセレンスを追求して仕事に取り組みます。
3. 私たちは、財務、環境、社会面における業績に対して責任を持ちます。
4. 私たちは、ステークホルダーの利益となるイノベーションを提供します。
5. 私たちは、主要なステークホルダーと良好な関係を構築し、維持します。
6. 私たちは、全ての人々を尊重します。
7. 私たちは、一人ひとりの業績や能力開発を重視します。
8. 私たちは、健全で魅力的な職場環境を整えます。
9. 私たちは、あらゆる行動においてアジリティとシンプルティを追求します。
10. 私たちは、クオリティと企業倫理について決して妥協しません。

究極のイノベーションを追求し、 アンメットメディカルニーズに 応えます

製薬産業を取り巻く環境は大きく変化しています。ノボ ノルディスクは特定の疾患領域に特化し、長年培ってきた病気に対する深い理解と洞察を持つことが強みです。これらを生かし、イノベーションの目標値を高く設定し、他の治療領域への参入や外部とのパートナーシップの可能性も追求し、アンメットメディカルニーズに応えていきます。

糖尿病

糖尿病はノボ ノルディスクの手がける主力の疾患領域で、自己注射で使用するインスリン製剤やGLP-1*1アナログ製剤を取り扱っています。インスリン製剤では、食事の直前に投与する超速効型インスリン製剤や、1日1回投与する持効型溶解インスリン製剤、超速効型と持効型溶解インスリンを配合した配合溶解インスリン製剤、そして持効型溶解インスリンとGLP-1アナログを配合した製剤など幅広い製品を取りそろえています。

GLP-1は腸管から分泌されるホルモンで、世界で初めて、ヒトGLP-1アナログを糖尿病治療薬として応用しました。自己注射での治療においては、注射をできる限り簡便で正確に行えるように、革新的で耐久性の高いプレフィルド型注入器も豊富に展開しています。また、注射剤だけでなく、世界で初となる経口のGLP-1アナログ製剤も開発し、販売を開始しています。

さらに、現在では1型糖尿病の根治を目指した幹細胞治療の研究にも取り組んでいます。このような幹細胞治療の技術は、将来的には他の深刻な慢性疾患治療へも拡大していく予定です。

*1 GLP-1(グルカゴン様ペプチド-1)は、食事に反応して分泌されるヒトの腸管ホルモン





究極のイノベーションを追求し、 アンメットメディカルニーズに応えます

成長障害

ノボ ノルディスクは40年以上の歴史を持つ成長ホルモン療法のパイオニアです。ノボ ノルディスクは世界で初めてカートリッジに充填したリキッドタイプの成長ホルモン製剤を開発し、今では世界で最も多く使われています。2021年には成人成長ホルモン分泌不全症(重症に限る)を適応として、週1回投与の長時間作用型ヒト成長ホルモンアナログ製剤の製造販売承認を取得し、販売を開始しました。これからも治療を必要とする患者さんの生活改善にイノベーションで貢献します。

血友病

ノボ ノルディスクは、血友病や血液系希少疾患の患者さんの出血治療における重大なアンメットメディカルニーズに応えるため、遺伝子組換えタンパク質の開発・製造の知見を活用し、血友病や血液凝固異常症の治療薬の開発・提供を行ってきました。現在では、血友病A、血友病B、インヒビターを持つ血友病の全ての種類の血友病治療薬、非常に稀な疾患である血液凝固第XIII因子欠乏症の治療薬を提供するとともに、アンメットメディカルニーズに応えるために新たな治療薬の研究開発を進めています。

肥満症

肥満症*²は、生理的、心理的、環境的、社会経済的、遺伝的要因を含むさまざまな要因に影響される進行性の深刻な慢性疾患で、肥満に関連する健康障害を改善する、またはその発症リスクを減らすために、長期的な体重管理が必要とされています。

しかし、肥満症の治療薬*³の選択肢は限られており、アンメットメディカルニーズの大きな領域です。ノボ ノルディスクは、肥満症ケアにおける重大なアンメットメディカルニーズに応えるべく熱意を持って取り組んでいます。

*² 肥満症は、肥満に関連して発症する健康障害を有し、医学的に減量が必要な状態と定義されています。
*³ 肥満症を適応とした製剤は、現在、日本のノボ ノルディスク ファーマ株式会社では取り扱っておりません。

ノボ ノルディスクは、患者さんが糖尿病を克服し、より良い生活を送るためのさまざまな活動に取り組んでいます

糖尿病を克服することを目指し、ノボ ノルディスクは日々革新的な製剤の開発を続けています。そして、これまで多くの患者さんが抱える課題に応えてきました。しかし、製剤だけで糖尿病における全ての課題を解決できないことも事実です。真の意味で糖尿病を克服するために、ノボ ノルディスクでは、患者さんの心理的・社会的な課題も解決するためのさまざまな取り組みを行っています。

都市における糖尿病患者の増加に構造的に取り組む－Cities Changing Diabetes（都市に蔓延する糖尿病の克服）

糖尿病とともに生きる人々の3人に2人が都市部に暮らしており、都市では糖尿病が蔓延しています。ノボ ノルディスクは、多様なパートナーと連携し、都市における糖尿病増加に取り組むため、「Cities Changing Diabetes」と呼ばれるプログラムを世界で立ち上げました。本プログラムでは、都市において糖尿病が増加している主な要因を理解し、知見を共有し、糖尿病患者さんのケア改善のために行動していくことにより、都市に住む糖尿病患者さんの健康改善を目指しています。

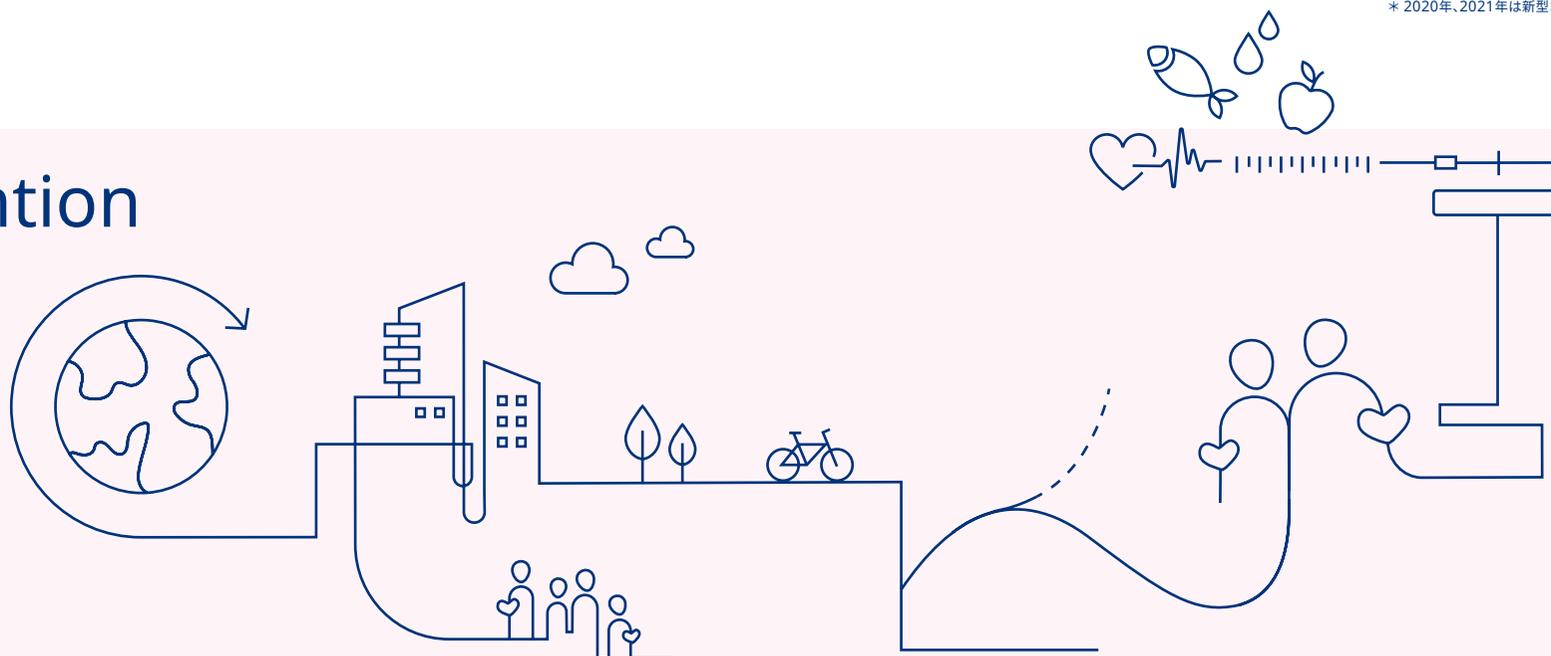
日本においては、2018年から福島県郡山市および福島県立医科大学と日本初となる「Cities Changing Diabetes」プログラムを実施し、2021年6月からは千葉県旭市および千葉大学医学部附属病院と2回目となる「Cities Changing Diabetes」プログラムを実施しています。

2型糖尿病患者さんの学ぶ機会を提供する－歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー*

糖尿病とともに健康的に暮らすことの重要性について広めるため、ノボ ノルディスクは公益社団法人日本糖尿病協会と1992年から「歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー」を共催しています。全国で開催されている本イベントは糖尿病患者さんが友人や家族とともに、糖尿病に関する講演やゲームなどを通じて、良好な血糖コントロールのために必要な知識や、糖尿病治療に欠かせない運動療法について楽しく学ぶ機会を提供しています。

* 2020年、2021年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止

Prevention



ノボ ノルディスクは糖尿病とともに生きる人たちが、もっと自分らしく、 ずっと笑顔で暮らせるように支え続けます

糖尿病とともに生きる人々へ勇気を与え応援するーチーム ノボ ノルディスク

チーム ノボ ノルディスクは、世界初の全員が1型糖尿病患者で構成されたプロサイクリングチームで、国際自転車競技連合 (UCI) のプロチームとして競技に参戦しています。2012年よりノボ ノルディスクがチームをサポートしています。チーム ノボ ノルディスクのミッションは、糖尿病とともに生きる人々を元気づけ、治療に積極的に取り組み、それぞれの人生の目標に向けて生きていくことを応援することです。

選手自らがお手本となり、世界トップクラスのレースに挑戦し「糖尿病を抱えていてもできること」を示すことによって、糖尿病とともに生きる人々を励まし、夢を追い続けていくための希望を与えています。

1型糖尿病の子供たちが病気とともに生きる力をつける手助けをするー思い出のサマーキャンプスケッチコンクール

絵を描くことを通じて観察力を鍛え、自分自身の身体を把握する力を高め、血糖コントロールに生かしてほしいという願いを込め、2001年より、「小児糖尿病サマーキャンプ」(主催:公益社団法人日本糖尿病協会)の参加者を対象に「思い出のサマーキャンプスケッチコンクール」を実施しています。

ノボ ノルディスクでは、糖尿病患者さんやそのご家族に、糖尿病に関する情報や、糖尿病とともに前向きに
過ごしてもらうための役立つ情報を提供するWebサイトである「糖尿病サイト」を運営しています。

詳しくはこちらから

糖尿病サイト



バイオ医薬品での治療が必要な疾患領域でも治療薬の提供を超えた取り組みを行っています

バイオファーマ領域では現在、血友病や希少な出血性疾患、成長障害のための治療薬を主に取り扱っています。これらの患者数は糖尿病ほど多くないものの、診断と治療を適切に行うことが、患者さんやご家族のQOL改善に重要な疾患です。ノボ ノルディスクは「患者さんのQOLを向上させる」というゴールに向けて、さまざまな方向から全力で取り組んでいます。

血友病に対する取り組み－血友病と生きる人々のより良い明日を築くために－

ノボ ノルディスクは、Changing Haemophilia® (血友病と生きる人々のより良い明日を築くために) のコンセプトのもと、製品の開発や供給を行うとともに、血友病や希少な血液凝固異常症とともに生きる人々の治療と人生に貢献するためのさまざまな取り組みを行っています。血友病は途上国では診断率や治療への認識が低い疾患であり、多くの患者さんが今も診断や十分な治療を受けることができていない状況です。2005年に設立したノボ ノルディスク血友病財団 (NNHF) では、途上国における診断と治療の能力開発、血友病の診断と登録、疾患啓発や教育の3領域を柱としたプログラムを展開し血友病治療の向上に努めています。日本では、血友病患者さんのための運動イベントや啓発活動を4月17日の「世界血友病デー」に合わせて開催したり、患者さんとご家族向けのWebサイト「クラブヘモフィリア」(www.clubhaemophilia.jp)にて、血友病と生きる方々のためのさまざまな情報を提供しています。

成長障害に対する取り組み－成長ホルモン治療に関わる全ての人の幸せのために－

子供の身長には個人差があり、成長過程において身長差がうまれるのは当然です。ただ、低身長の子供のなかには、医学的な原因が隠れているケースがあることもわかっています。

ノボ ノルディスクは、こうした子供の低身長症の早期診断、早期治療を目的とした啓発活動を行っています。

全国各地で小児科医師や医療従事者に対して、子供の成長や成長障害を起こしうる疾患に関する情報提供を行い、早期診断・早期治療の重要性について訴求しています。

また、疾患啓発と成長曲線の普及促進を目的とした「わが子の身長 はかろう! つけよう!」キャンペーンを2011年から実施しています。子供の低身長について分かりやすく解説したパンフレットや身長測定ポスターを無料で配布しています。

また、2017年からは、お子様の身長と体重を簡単に入力し、成長曲線に記録ができるスマートフォン向けアプリ「すくすく成長曲線」を無料で提供しており、2020年には成長障害・低身長のお子様のための相談室「nordicare.jp」をリニューアルしました。



ノボ ノルディスクは、環境への影響ゼロの実現を目指しています

circular
FOR **zero**

— 循環型ビジネスで環境負荷ゼロを実現する —

「Circular for Zero—循環型ビジネスで環境負荷ゼロを実現する—」

という環境戦略を打ち立て、リサイクルや再利用可能な製品設計、ビジネスの手順を見直すことによる消費の最小化と廃棄物の削減、そして志を同じくするサプライヤーとの協働に取り組んでいます。

ノボ ノルディスクは、2015年に「RE100*」に加盟し、2020年までに全世界の自社生産設備で使用する電力を100%再生可能エネルギーにするという目標を掲げ、これを達成しました。ノボ ノルディスクは、「RE100」加盟国の中で、この目標を達成した最初の製薬企業です。次の目標として、2030年までに全ての事業活動および輸送にかかるCO₂排出ゼロを目指しています。

国内では郡山工場が、2016年に電力の再生可能エネルギー化100%、2018年に工場におけるCO₂排出量ゼロを実現しています。2020年7月には、工場の敷地内に太陽光発電設備を導入し、発電した電力を自家消費することで環境負荷低減を図っています。また、2021年2月には、日本における環境戦略を発表しました。

* RE100:事業活動を100%再生可能エネルギーで賄うことを目指す国際イニシアチブ



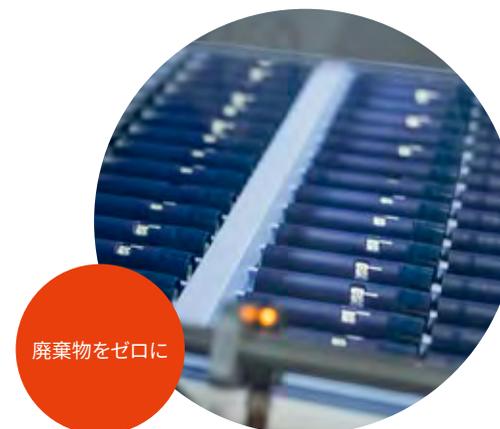
全ての供給を
100%再生可能
エネルギーに

循環型供給



オペレーションと
輸送で排出される
CO₂をゼロに

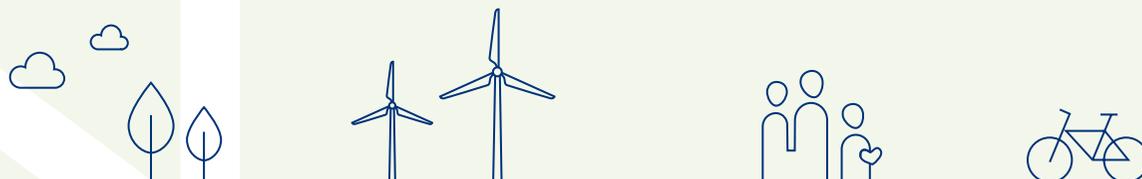
循環型企业



廃棄物をゼロに

循環型製品

環境戦略の一環として、デンマーク本社では、医療機器の使用後の課題にも取り組んでいます。その試験的な取り組みとして、生産拠点におけるペン型注入器（未出荷）の廃棄物をリサイクルし、照明器具やオフィス家具の原料として再利用することに成功しました。この取り組みを使用済み製品のリサイクルにまで拡大することを目指し、使用済み製品の回収プログラムの整備を進めています。



リサイクルされたノボ ノルディスクの
インスリンペン型注入器でできた椅子



「多様な価値観を認め合うインクルーシブな文化」を目指して

2020年、ノボ ノルディスク ファーマはこれまでも、そしてこれからもダイバーシティ&インクルージョンを推進するために「D&I 2.0」ビジョンを策定しました。

性別や年齢にとどまらないさまざまな形の多様性を尊重し、誰もが活躍できる機会を得られる文化を目指し、多くの取り組みを進めています。私たちの働くあらゆる場においてダイバーシティ&インクルージョンのワークショップを展開し、社員一人ひとりがダイバーシティ&インクルージョンに対する理解を深める — そして全員が「自分ゴト化」する — その結果が、社員の声から生まれた多くの施策に生かされています。

また、平等で多様なキャリア機会の創出を目指し、社内公募制度や他部署の業務を経験できるプログラムなど、社員が自ら築くキャリアを支援する制度も積極的に活用されています。

これからの時代に合わせた柔軟な働き方

ノボ ノルディスク ファーマでは社員の働き方においても、多様な価値観を認めることを原則としています。社員一人ひとりや全ての管理職がこれらの多様な価値観と向き合うことは、チームや組織としてのパフォーマンスや社員のエンゲージメント向上、そして新しい人材の獲得に繋がると信じています。テレワークや多くの休暇制度など社員のワークライフバランスをサポートするさまざまな制度の充実、そして社員自らが自分の働き方を考え、上司やチームにその価値観を共有することも重視しています。また、部下とオープンな対話を行うためのサポートとして、管理職向けにアンコンシャス・バイアス*1や心理的安全性*2についてのトレーニングも実施しています。

*1 無意識の偏った物事の見方

*2 組織内で安心して自分を出すことができると思える状態

自らキャリアを切り開く社員の紹介

後輩の成長とともに感じる自分の成長、これが自分自身のキャリアを築く鍵になる

2016年に大学卒業後ノボ ノルディスクに入社し、現在は東京近郊の大学病院、基幹病院を中心に、希少疾患である血友病の患者さんが使う製品を担当する営業として働いています。入社して5年後の2020年、新卒で入社した後輩の教育係を担いました。初めての新入社員の教育係をコロナ禍で経験し、当初は手探り状態だったことを覚えています。しかし新入社員の成長とともに自分自身の成長を実感し、お互いの成長の喜びや仕事の楽しさを改めて発見する機会になりました。

教えることでともに成長する——私が自分自身のキャリアを築いていく上でのターニングポイントを迎えたような気がしています。

ノボ ノルディスクの価値観である「患者さん中心のビジネスアプローチ」を忘れずに、これからも多くの医療従事者の皆さんと患者さんの治療について前向きに話し合える、ノボ ノルディスク ウェイを体現する社員になることが私の目標であり、自分自身で築くキャリアの柱になると信じています。

S.I.

2016年に新卒で入社後、千葉県と東京都の一部でヘモフィリア（血友病）領域を担当する営業職として配属。現在は東京都内の大学病院、基幹病院を担当。

現在臨床開発部門にて数多くの治験に関わっています。ノボ ノルディスクには糖尿病だけでなく、多くの疾患領域において新薬の候補となる豊富なパイプラインがあります。今後も色々な疾患領域の新薬開発に携わり、将来は自ら治験をマネジメントし、成功させ、新薬を市場に送り出すことを目標にしています。

D.S.

2017年に新卒で臨床開発部門に入社。多くの国際共同治験の遂行に従事。



マネジャーになったのは私にとってのキャリアのゴールではありませんでした。まずは自分自身やチームメンバーのキャリアに真剣に向き合えるリーダーになること。そして一人ひとりの社員が自身のキャリアを築くことで継続した成長ができる強いチームとなり、ノボ ノルディスクの製品を世界中のさまざまな患者さんに届ける、それが私と私のチームの目標です。

S.K.

九州の一部地域を管轄するセールスマネジャー、2021年より現職。2016年に中途入社、2021年7月に現職に着任。

life- changing careers

ここには、人生を変える仕事がある。

初めての教育係を担った後輩の成長とともに感じたのは自分の成長であり、それに気付いたときが私のキャリアを築く上でのターニングポイントでした。自らのキャリアは会社から与えられるのではなく、自分で選択し、切り開き、築き上げるものです。私がプロフェッショナルであることは「患者さん中心のビジネスアプローチ」を通して医療に貢献できる機会をより多く創出することにつながると実感しています。

(2016年新卒入社。現在は東京近郊を担当する営業職)

ノボ ルディスク ファーマ株式会社

〒100-0005

東京都千代田区丸の内2-1-1

明治安田生命ビル

TEL. (03) 6266-1000 (代表)

FAX. (03) 6266-1800

www.novonordisk.co.jp



JP22NNG00009 (2022年3月作成)

